

鎮西(九州)千葉氏

千葉氏は、鎮西(九州)の北部(今の佐賀県)に領地を持っていました。そのため元寇の時には、幕府の命令により千葉介頼胤と宗胤の親子が元(モンゴル)と戦うために九州に出かけました。しかし、頼胤は元との戦いで得た傷がもとで九州で没し、宗胤は、元が三度目に攻めてくる可能性があったため九州から離れることができませんでした。そこで、千葉氏の本家は胤宗が継ぐことになり、ここで千葉氏は九州千葉氏と下総千葉氏に大きく分かれることになりました。



千田胤貞の墓 佐賀県小城市光勝寺境内



千葉宗胤

『下総国千葉郷妙見寺大縁起絵巻』より
 歎喜寺蔵 非公開

千葉介頼胤の子。二度目の蒙古襲来である弘安の役(1281)で九州に出陣。九州千葉氏の祖。異国警護番役として活躍。